

平成 25 年 7 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 JVC ケンウッド
 代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 江口 祥一郎
 (コード番号 6632 東証第一部)
 問合せ先 広報・IR 統括部長 遠藤 勇
 (TEL 045-444-5232)

合弁会社設立に関するお知らせ

当社は、株式会社ゼットエムピー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：谷口 恒、以下「ゼットエムピー」）と合弁会社を設立し、モバイル通信による車載 CAN^{※1}データのクラウドプラットフォームを活用するテレマティクス事業を共同展開することについて合意に至りましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合弁会社設立の背景および趣旨

ゼットエムピーは、ロボット技術をベースにした、テレマティクス^{※2}と自動運転のリーディングカンパニーとして次世代モビリティ開発用プラットフォームなどの事業を展開しています。

当社は、市販カーオーディオとカーインフォテインメント^{※3}で、米欧市販市場における最大の実績を持ち、ケンウッド、JVC の 2 つのブランドの統合効果を活かした成長戦略を推進しております。

このたび両社は、ゼットエムピーの有する技術開発の先進性と、当社の有する技術力やカーエレクトロニクス事業に対する知見と事業実績を融合させ、自動車をオープンなインターネット環境に接続することで様々なサービス提供を実現するための技術の確立と事業化を目指し、合弁会社を設立することに合意しました。当社はこの合弁会社設立により、今後成長が予想されるテレマティクス分野での事業開発を本格的に推進してまいります。

この合弁会社では、自動車の車載データをリアルタイムに集約し、自動車の状態と運転者の行動をインターネット上に蓄積するとともに、そのビッグデータの解析・モデル化を通じて、交通事故の低減、二酸化炭素の排出量削減を通じた環境対策に繋げ、更には、運転者に快適性や楽しさをもたらすサービスの提供や、B to B 向けの新たな付加価値サービスの提供を目指してまいります。なお、事業化にあたって必要となる製品・サービスの開発・生産・販売機能は両社で分担することを想定しております。

なお、合弁会社の車載 CAN^{※1}データのクラウドプラットフォームは、マイクロソフトの「Windows Azure^{※4}」を活用します。

2. 合弁会社の概要

| | |
|---------------|---------------------------------------|
| (1) 名称 | 株式会社カートモ |
| (2) 所在地 | 東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号 住友不動産小石川ビル |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 谷口 恒 (代表取締役社長) |
| (4) 事業内容 | 車載 CAN データクラウド技術の研究開発と事業化を行う |
| (5) 合弁会社資本金 | 10 百万円 (設立登記時点) |
| (6) 合弁会社資本準備金 | 10 百万円 (設立登記時点) |
| (7) 設立年月日 | 平成 25 年 7 月末までに設立完了予定 |
| (8) 出資比率 | 株式会社ゼットエムピー 51% 株式会社 JVC ケンウッド 49% |



新会社のロゴマーク

3. 株式会社ゼットエムピー 会社概要

商号： 株式会社ゼットエムピー
所在地： 東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号 住友不動産小石川ビル
代表者： 谷口 恒（代表取締役社長）
設立： 2001 年 1 月 30 日（独立行政法人 科学技術振興機構発ベンチャー有限会社ゼットエムピーとして設立）
資本金： 30 百万円
事業内容： カー・ロボティクス・プラットフォーム及びセンサシステム事業、実車実験代行サービス事業、テレマティクス事業、自動車開発支援事業、企業・大学向け研究および教材用ロボット、書籍出版など。

4. 今後の見通し

当社とゼットエムピーは、今回の合意に基づき、可能最短での本合弁会社の設立手続きを行います。本件による当社の今期の業績に与える影響は、現時点では軽微であります。

日本マイクロソフトからのコメント：

この度は、株式会社ゼットエムピーと株式会社 JVC ケンウッドによる、車載テレマティクス分野の事業を推進する新会社設立の由、心よりお慶び申し上げます。センサーシステムやロボティクス分野などにおいて高い技術力を持ち、当社のパートナー企業である両社が設立する新会社が、当社の「Windows Azure」をプラットフォームに、デバイスとクラウドサービスの融合による新たなイノベーションを示すとともに自動車を取り巻く課題の解決と付加価値の創出がさらに加速されることを期待しております。

日本マイクロソフト株式会社 最高技術責任者 加治佐 俊一

※1: CAN(Controllor Area Network)

自動車などの機械の内部で、電子回路や各装置を接続するためのネットワーク規格。ISO によって ISO11898 および ISO11519 として標準化。自動車内部で ECU(電子制御装置)やエンジン、ブレーキなどの部品をつなぎ、部品の状態を伝達または制御技術の送信に使用されるため、信頼性や対ノイズ性能を重視した仕様。すべての装置が一つの伝送路を共有するバス型のネットワーク。

※2: テレマティクス

テレコミュニケーション（通信）とインフォマティクス（情報科学）から作られた造語。自動車などの移動体に携帯電話などの通信システムを組み合わせて、リアルタイムに情報サービスを提供すること。

※3: カーインフォテインメント

インフォテインメントとは、インフォメーション（情報）とエンターテインメント（娯楽）を組み合わせた造語。現代の運転者が求める、ナビゲーションや位置情報サービス、音楽／動画再生、インターネット接続などの機能を搭載した車載システムのこと。

※4: Windows Azure

マイクロソフト社が管理するデータセンターのグローバルネットワーク全体でアプリケーションを迅速に構築、展開、および管理できるようにする、オープンで柔軟なクラウドプラットフォーム。

以 上